

健康ぷらざ

No.295

企画:日本医師会

心臓震盪

しんぞうしんとう

— 楽しいスポーツのはずが…子どもの命が危ない! —

心臓震盪は、子どものスポーツ中に起こる突然死の原因の一つで、野球・ソフトボール・サッカーなどでよく起こります。

心臓の真上あたり(前胸部)に、打ったボールや体がぶつかるときの衝撃が加わったときに、心臓震盪が起こります。

子どもの柔らかい胸では、その衝撃が心臓に影響を与えて、重大な不整脈を引き起こし、その結果、突然死に至るのです。

心臓震盪は、前胸部に心臓震盪予防用のプロテクターを着けることで予防できます。

不幸にも心臓震盪が起きてしまったら、電気ショックによる除細動が唯一の治療方法になるので速やかにAED(自動体外式除細動器)を実施することが大切です。

楽しいスポーツで悲劇的な出来事が起こらないように、予防と万全な対策を心がけましょう。



前胸部に
心臓震盪予防用のプロテクター
を着けることで予防できます



指導: 東京女子医科大学東医療センタースポーツ健康医学部教授 浅井 利夫

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。